

都市再生整備計画(第5回変更)

とうかいどう はらじゆく ちく
東海道原宿地区

しずおか ぬまづ し
静岡県 沼津市

令和元年12月

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・【歴史的資源活用による賑わいの再生】 帯笑園及び白隠のみちの整備を実施することで、歴史的資源の有効活用を図り、来訪者の誘引及び地区住民の誇りを育て、地区のにぎわいの再生を図る。</p>	<p>■基幹事業 ・道路：市道2221号線 ・道路：市道2209号線 ・道路：市道2222号線 ・道路：市道2287号線 ・道路：市道2218号線 ・地域生活基盤施設(広場)：帯笑園 ・地域生活基盤施設(情報板)：白隠のみち ・高質空間形成施設(カラー舗装)：白隠のみち ・高質空間形成施設(街灯)：白隠のみち ・既存建物活用事業：帯笑園 ○関連事業 ・都市計画道路原駅町沖線(駅前広場)整備事業 ・都市計画道路原駅町沖線単独街路事業 ・市道0204号線道路改良事業</p>
<p>・【風情あるまち並みの創出】 地区の歴史に相応しい舗装や街灯等の整備を実施することで、風情あるまち並みの創出を図る。</p>	<p>■基幹事業 ・道路：市道2221号線 ・道路：市道2209号線 ・道路：市道2222号線 ・道路：市道2287号線 ・道路：市道2218号線 ・地域生活基盤施設(情報板)：白隠のみち ・高質空間形成施設(カラー舗装)：白隠のみち ・高質空間形成施設(街灯)：白隠のみち <input type="checkbox"/>提案事業 ・事業活用調査：事業効果分析</p>
<p>・【来訪者の誘引による活性化の推進】 原駅自転車駐輪場の整備及び原駅から歴史的資源への回遊動線に情報板を設けることにより、新たな来訪者の誘引を促し、地区の活性化の推進を図る。</p>	<p>■基幹事業 ・地域生活基盤施設(情報板)：白隠のみち ・地域生活基盤施設(自転車駐輪場)：原駅自転車等駐輪場 <input type="checkbox"/>提案事業 ・事業活用調査：事業効果分析 ○関連事業 ・都市計画道路原駅町沖線(駅前広場)整備事業</p>
<p>その他 【官民協働によるまちづくりの実施】 ・白隠のみち整備にあたっては、平成17年度に地元自治会、商工会、寺院等の代表者によって設立された「白隠のみち整備協議会」と共に、整備内容の検討・提案・合意形成を図り、官民協働によるまちづくりを進めていく。 また、協議会が円滑に進行する様に必要な支援(運営支援・事例視察の支援等)を行っていく。</p>	

様式3 目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項

交付対象事業費	247	交付限度額	98.8	国費率	0.4
---------	-----	-------	------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分		交付対象事業費	費用便益比B/C
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分		
道路		市道2221号線	沼津市	直	L=140m	20	29	27	29	56	16	16	0	16	
道路		市道2209号線	沼津市	直	L=60m	27	28	27	28	8	8	8	0	8	
道路		市道2222号線	沼津市	直	L=55m	21	28	27	28	33	6	6	0	6	
道路		市道2287号線	沼津市	直	L=45m	27	29	27	29	6	6	6	0	6	
道路		市道2218号線	沼津市	直	L=190m	27	31	27	31	31	31	31	0	31	
公園															
古都保存・緑地保全等事業															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設(広場)		帯笑園	沼津市	直	A=292㎡	21	30	29	30	336	55	55	0	55	
地域生活基盤施設(自転車駐車場)		原駅自転車駐車場	沼津市	直	A=848㎡	29	30	29	30	35	35	35	0	35	
地域生活基盤施設(情報板)		白隠のみち	沼津市	直	N=13箇所	22	31	29	31	12	12	12	0	12	
高質空間形成施設(カラ-舗装)		白隠のみち	沼津市	直	A=956㎡	20	31	28	31	117	31	31	0	31	
高質空間形成施設(街灯)		白隠のみち	沼津市	直	N=8箇所	21	29	28	29	12	7	7	0	7	
高次都市施設															
中心拠点誘導施設															
連携生活拠点誘導施設															
生活拠点誘導施設															
高齢者交流拠点誘導施設															
既存建造物活用事業(高次都市施設)		帯笑園	沼津市	直	A=1584㎡	29	30	29	30	36	36	36	0	36	
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
バリアフリー環境整備事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型														
	沿道等整備型														
	密集住宅市街地整備型														
	耐震改修促進型														
街なみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
合計										682	243	243	0	243	

提案事業(継続地区の場合のみ記載)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分		交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
地域創造支援事業														
事業活用調査	事業効果分析	-	沼津市	直	-	31	31	31	31	4	4	4	0	4
まちづくり活動推進事業														
合計										4	4	4	0	4
												合計(A+B)	247	

(参考)関連事業

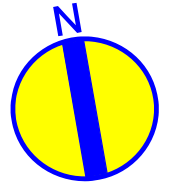
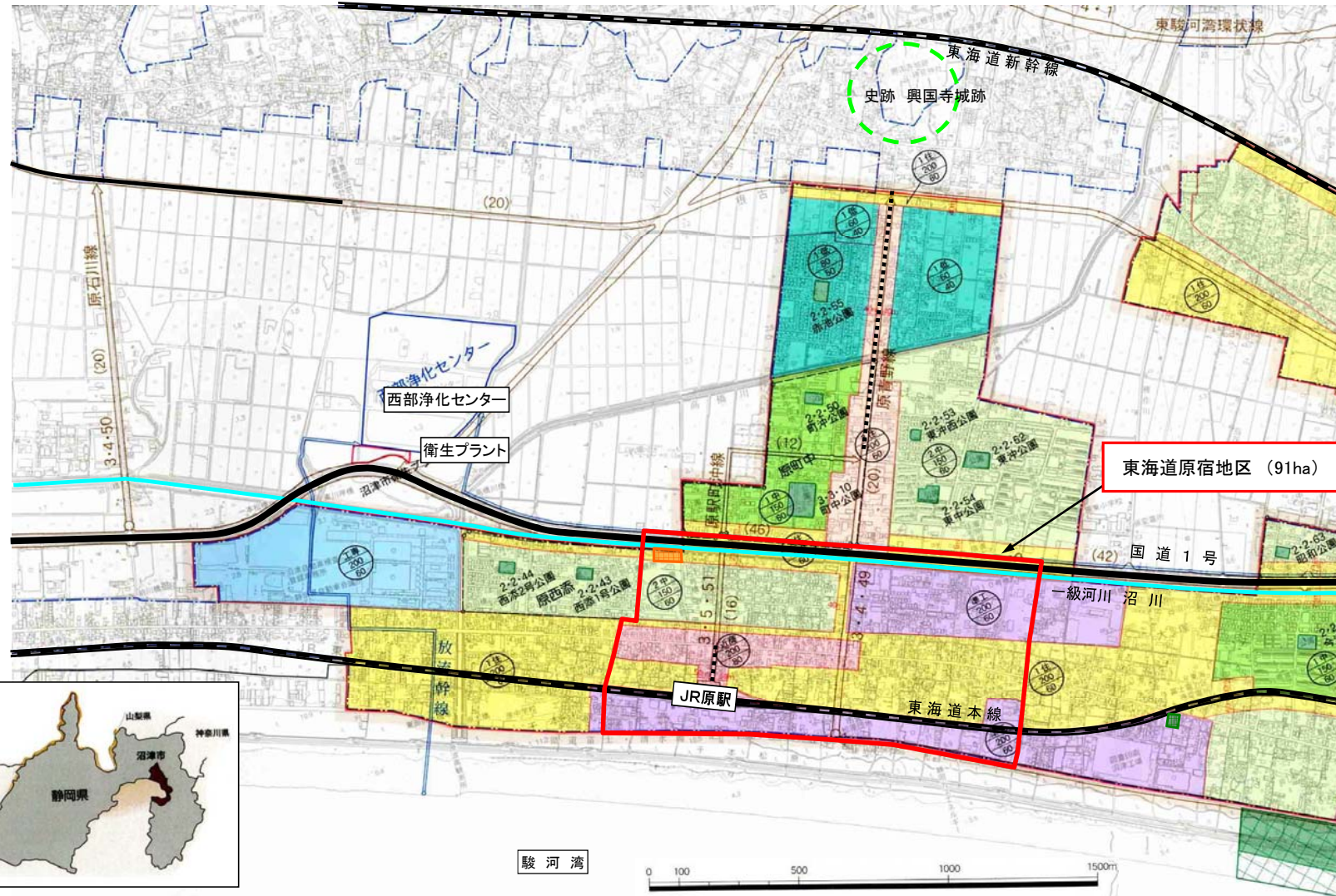
事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度	
都市計画道路原駅町沖線(駅前広場)整備事業	沼津市原	沼津市	国土交通省	2,700m		○			26	34	756
市道0204号線道路改良事業	沼津市原	沼津市	国土交通省	90.5m		○			23	30	168
都市計画道路原駅町沖線県単独街路事業	沼津市原	静岡県	国土交通省	112.1m		○			26	32	950
合計											1,874

※本シートを都市再生整備計画につける必要はない

都市再生整備計画の区域

<p>東海道原宿地区(静岡県沼津市)</p>	<p>面積 91 ha</p>	<p>区域 原字高田、原字東畑、原字御殿場、原字堀金、原字町添 大塚字道上、大塚字道下、大塚字西沖、大塚字井関</p>
------------------------	-----------------	---

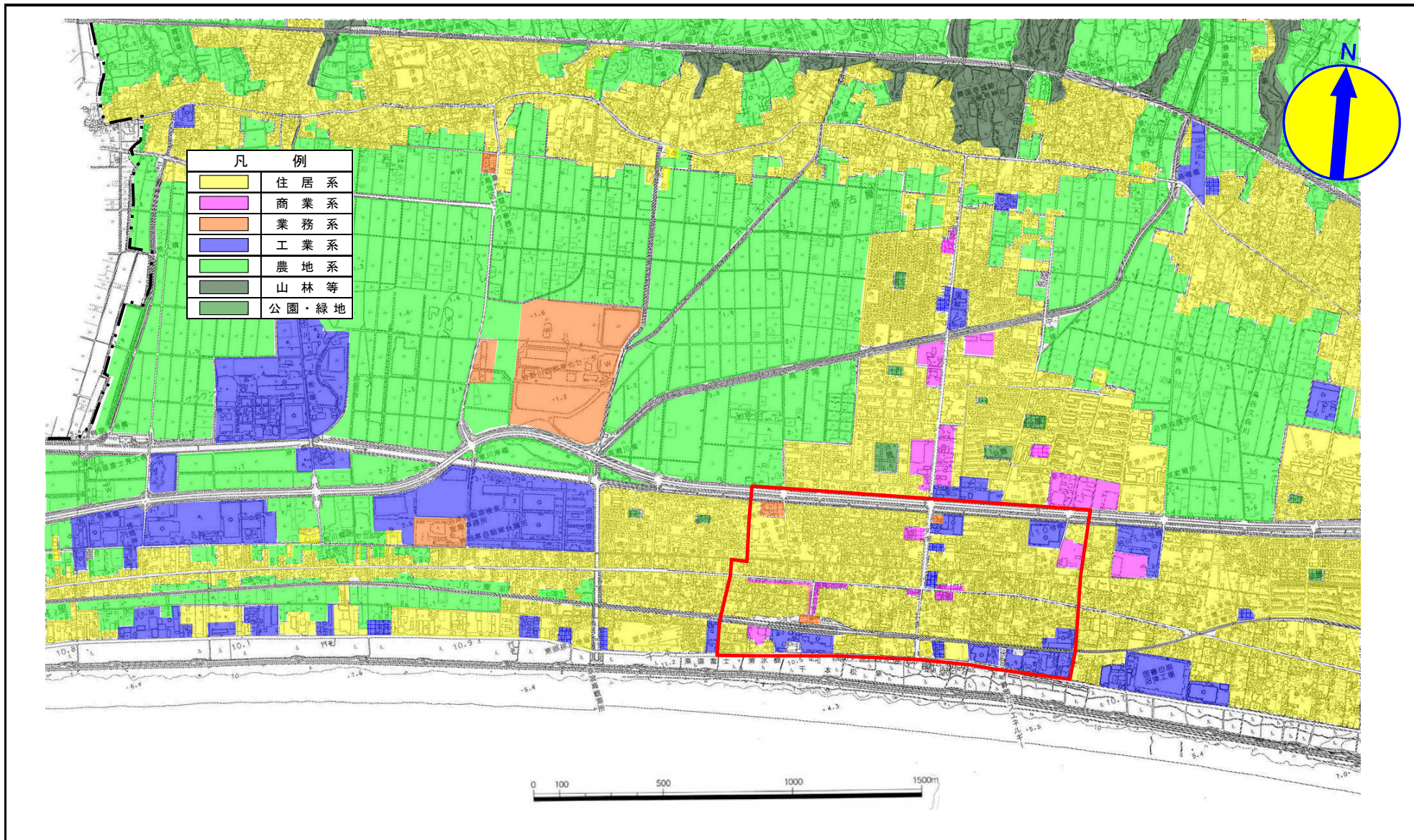
※ 計画区域が分かるような図面を添付すること。



駿河湾



東海道原宿地区(静岡県沼津市) 現況図



交付限度額算定表(その1)

東海道原宿地区(静岡県沼津市)

要綱第Ⅲ編イ-10-(1)に掲げる式による交付限度額(X)	98.8 百万円	規則第16条第1項に基づく交付限度額(Y)	6,802.0 百万円	X ≤ Yゆえ、本計画における交付限度額	98.8 百万円
-------------------------------	----------	-----------------------	-------------	----------------------	----------

規則第16条第1項に基づく限度額算定

Au 364,000 m²

公共施設の上限整備水準

区域面積(m ²)	910,000	
当該区域の特性に応じて国土交通大臣が定める割合	区域の面積が10ha未満の地区	0.50
	最近の国勢調査の結果による人口集中地区内	0.45
	その他の地域	0.40

Ci 92,000 円/m²

単位面積あたりの標準的な用地費

標準地点数	1
公示価格の平均値(円/m ²)	92,000

単位面積あたりの標準的な補償費

当該区域内の戸数密度(戸/m ²)	
標準補償費(円/戸)	44,000,000

Cf 23,000 円/m²

控除額 0 百万円

まちづくり交付金とは別に国庫補助事業等により整備する施設

施設名(事業名)	面積(m ²)	国庫補助事業費等(百万円)
合計	0	0

要綱第5に掲げる式による限度額算定

<社会資本整備総合交付金>

交付対象事業費	基幹事業(A)	243 百万円
	提案事業(B)	4 百万円
	合計	247 百万円

Ap 245,700 m²

公共施設の現況整備水準

○ 整備水準が明らかになっている類似市街地等からの推定	
推定現況整備水準(小数第2位まで)	0.27
推定公共施設面積(m ²)	245,700

個別公共施設の積み上げ

	面積(m ²)	割合
道路	-	-
公園	-	-
広場	-	-
緑地	-	-
公共施設合計	0	0

Cnを考慮しない場合の交付限度額(Y1) 6,802 百万円

ΣCn 0 円

下水道	0 円
区域面積(m ²)	910,000
うち現況の供用済み区域面積(m ²)	
標準整備費(円/m ²)	3,600

地域交流センター等の公益施設(建築物) 0 円

上限床面積(m ²)	9,400
標準整備費(円/m ²)	472,000

調整池 0 円

調整池の容積(m ³)	
標準整備費(円/m ³)	140,000

河川 0 円

河川整備延長(m)	
標準整備費(円/m)	3,700,000

住宅施設 0 円

建設予定戸数(戸)	超高層	
	一般	
	合計	0
標準整備費(円/戸)	超高層	一般
	北海道特別地区	41,310,000
北海道一般地区	38,190,000	30,990,000
特別地区	49,120,000	35,690,000
大都市地区	37,170,000	30,180,000
多雪寒冷地区	41,510,000	32,370,000
奄美地区	39,520,000	35,640,000
沖縄地区	30,280,000	30,280,000
一般地区	33,700,000	28,640,000

市街地再開発事業による施設建築物 0 円

施設建築物の延べ面積(m ²)	
標準共同施設整備費(円/m ²)	132,000

電線共同溝等 0 円

電線共同溝等延長(m)	
標準整備費(円/m)	680,000

人工地盤 0 円

人工地盤の延べ面積(m ²)	
標準整備費(円/m ²)	5,300,000

協議して額を定める大規模構造物等 0 円

大規模構造物等	協議状況	整備費(円)

Cnを考慮した場合の交付限度額(Y2) 6,802 百万円

[1]式) α1=4(A+B)/5= 198

[2]式) α2=10A/9= 270

交付限度額(X) 98.8 百万円

要綱第Ⅲ編イ-10-(1) 3)式の適用[提案事業2割拡充]

平成20年度二次補正予算の執行

要綱第Ⅲ編イ-10-(1) 4)式の適用[中活等の45%拡充]

要綱第Ⅲ編イ-10-(1) 5)式・6)式の適用[リノベ事業の50%拡充]

交付限度額算定表(その2)

要綱第Ⅲ編イ-10-(1)に掲げる式による限度額算定(詳細)

※水色のセルに事業費等必要事項を入力して下さい。(百万円単位)

単位:百万円

○交付対象事業費(必ず入力) (百万円) (百万円)

交付対象事業費	基幹事業合計(A)	243.000	A (事業費)	1)式で求まる額(4/10*(A+B))	98.800	① (国費)
	提案事業合計(B)	4.000	B (事業費)	2)式で求まる額(5/9*A)	135.000	② (国費)
	合計(A+B)	247.000	(事業費)	上記①、②の小さい方	98.800	③ (国費)
	提案事業割合(B/(A+B))	0.017		国費率(③÷(A+B))	0.400	④ (国費率)

○拡充の有無

以下の3つの拡充のうち、いずれかの拡充がある場合は、該当する欄に○を記入し、事業費等を入力。

・3)式の適用[提案事業2割拡充]		(選択)	⇒	③)式で求まる額(5/8*A)	0.000	⑤ (国費)
・平成20年度二次補正予算の執行		(選択)		③)式の適用後(適用がある場合は3式反映)	98.800	⑥ (国費)
・4)式の適用[中活等の45%拡充]		(選択)		③)式適用後の国費率(⑥÷(A+B))	0.400	⑦ (国費率)

○拡充がある場合の事業費等

平成20年度二次補正の執行がある場合及び4)式の適用がある場合は、以下に事業費等を入力。

平成20年度二次補正の執行がある場合	防災対象事業(A')		A' (事業費)	⇒	③をA'に置き換えた額(A⇒(A-A')+9/8*A')	98.800	⑧ (国費)
	補正予算の執行額		(国費)		執行額を足した額	98.800	⑨ (国費)
					補正適用後(上記⑧、⑨の小さい方)	98.800	⑩ (国費)
					補正適用後の国費率(⑩÷(A+B))	0.400	⑪ (国費率)

4)式の適用を受ける場合	計画の認定等の年度末までの執行事業費(F)		F (事業費)	⇒	適用前の国費率(⑩÷(A+B))	0.400	⑫ (国費率)
	適用対象となる交付対象事業費(A''+B'')	0.000	(事業費)		適用対象事業費から求まる限度額	0.000	⑬ (国費)
	適用対象となる基幹事業合計(A'')		A'' (事業費)		適用後の国費率(⑬÷(A''+B''))	#DIV/0!	⑭ (国費率)
	適用対象となる提案事業合計(B'')		B'' (事業費)		4)式適用後の限度額(⑫×F+⑭×H)	#DIV/0!	⑮ (国費)

※4)式の適用を受ける場合で、経過措置を適用しない場合(H21以降新規地区)は、Fの欄を記入せず、A''、B''を記入し、A''=A、B''=B、H=A''+B''=A+Bとなる。

↓

拡充も考慮した交付限度額	98.800	⑯ (国費)
--------------	--------	--------

○交付限度額、国費率の算出

交付対象事業費(A+B)	247.0	(事業費)	⇒	交付要綱第5に基づく交付限度額(⑯を1万円の位を切り捨て)	98.8	⑰ (国費)
				国費率	0.400	⑱ (国費率)

様式8 年次計画

(事業費:百万円)

基幹事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業	細項目								
道路		市道2221号線	沼津市	16	2		14		
道路		市道2209号線	沼津市	8	1	7			
道路		市道2222号線	沼津市	6	1	5			
道路		市道2287号線	沼津市	6	1		5		
道路		市道2218号線	沼津市	31	2			15	14
公園									
古都保存・緑地保全等事業									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設(広場)		帯笑園	沼津市	55			2	53	
地域生活基盤施設(自転車駐車場)		原駅自転車等駐車場	沼津市	35			10	25	
地域生活基盤施設(情報板)		白隠のみち	沼津市	12			3		9
高質空間形成施設(カラー舗装)		白隠のみち	沼津市	31		9	8	6	8
高質空間形成施設(街灯)		白隠のみち	沼津市	7		6	1		
高次都市施設									
中心拠点誘導施設									
連携生活拠点誘導施設									
生活拠点誘導施設									
高齢者交流拠点誘導施設									
既存建造物活用事業(高次都市施設)		帯笑園	沼津市	36			31	5	
土地区画整理事業									
市街地再開発事業									
住宅街区整備事業									
バリアフリー環境整備促進事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地 総合整備 事業	拠点開発型								
	沿道等整備型								
	密集住宅市街地整備型								
	耐震改修促進型								
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									
計				243	7	27	74	104	31
提案事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業	細項目								
地域創造 支援事業									
事業活用 調査	事業効果分析	-	沼津市	4					4
まちづくり活動 推進事業									
計				4	0	0	0	0	4
合計				247	7	27	74	104	35
累計進捗率 (%)					2.8%	13.8%	43.7%	85.8%	100.0%

(参考)都市機能立地支援関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
合計			0	0	0	0	0	0
累計進捗率 (%)				#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

道路

都市計画道路名 又はその他道路名	区間	道路 区分 注1)	事業 主体	事業 手法 注2)	工種	延長 m	幅員		整備後 車線数	歩道 幅員 m	まち交 事業費 百万円	まち交における 事業期間 (年度)	事業内容 注3)	都市計画 決定 年月	備 考 注4)
							整備前 m	整備後 m							
<道路>				-											
市道2221号線	～	地	市	-	改良	140	2.5	4.0	1		16	H27～H29	側溝整備		
市道2209号線	～	地	市	-	改良	60	4.0	4.0	1		8	H27～H28	側溝整備		
市道2222号線	～	地	市	-	改良	55	3.0	4.0	1		6	H27～H28	側溝整備		
市道2287号線	～	地	市	-	改良	45	2.0	4.0	1		6	H27～H29	側溝整備		
市道2218号線	～	地	市	-	改良	190	2.8	4.0	1		31	H27～H31	側溝整備		

(参考)

<関連事業>															

* 本調書にはア)交付対象事業「道路」(街路、地方道、国道、その他)、イ)関連事業道路のすべてを記載すること。

注1) <道路>については、街、地、国、他の別を記載。

<関連事業>については、国、主、一、市の別を記載。

ただし、街：街路、地：地方道(市町村道)、国：国道、主：主要地方道、一：一般都道府県道、市：市町村道、他：いずれにも該当しないもの

注2) <関連事業>について通、交、地特、単独、促の別等を記載。補足説明すべき点は備考欄に説明を記載。

注3) 施設の構造、工法、及び地方道事業においては細工種、街路事業においては沿道区画整理型街路事業等の事業名

注4) 備考には現在の道路状況を把握するために必要なその他の事項で、交通量(人/日)、混雑度等を記載

(例)・道路改築：交通量(人/日)、混雑度等

・自転車駐車場：都市計画決定の有無、面積、利用台数等

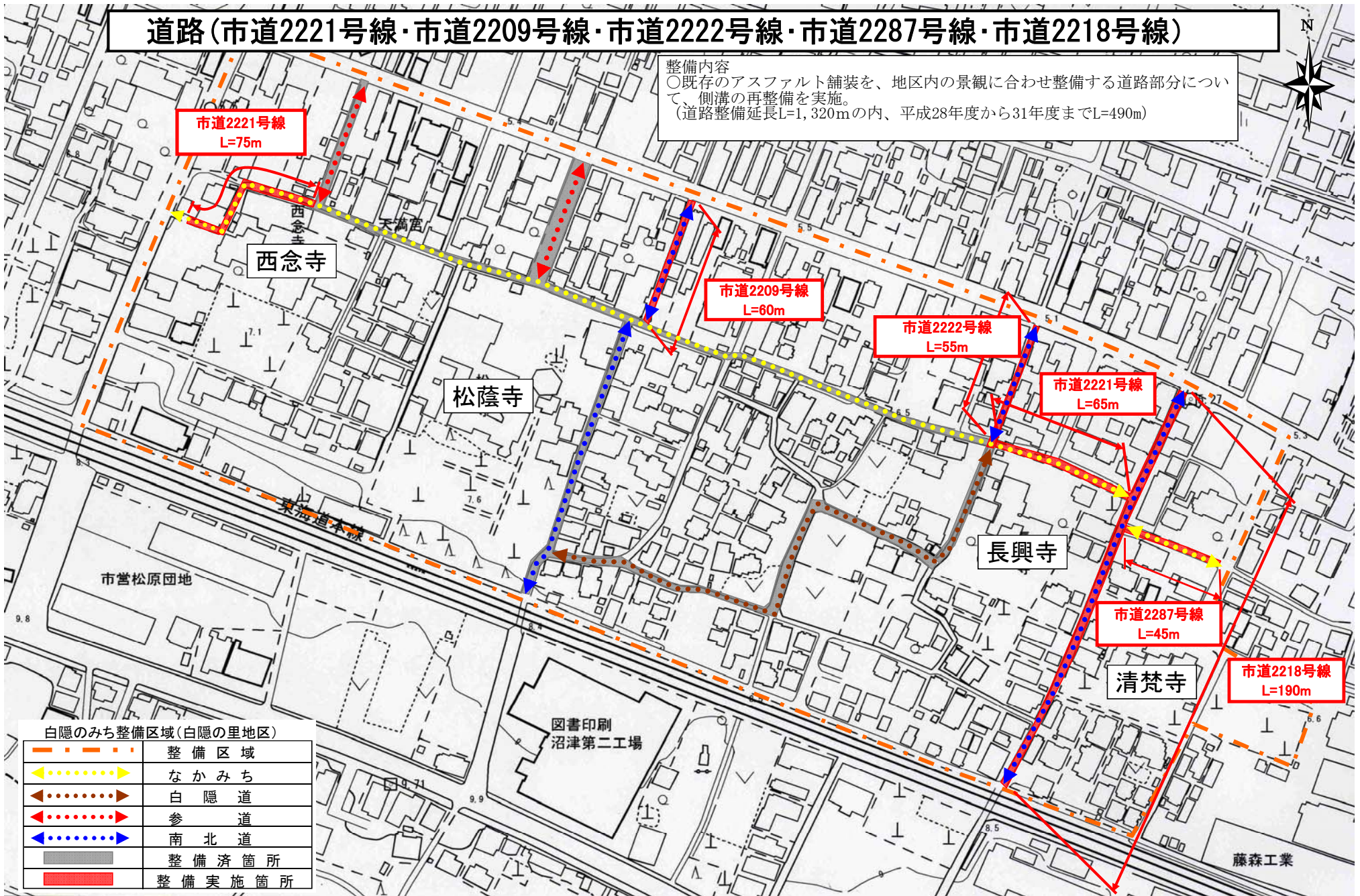
* 交付対象事業「道路」を「身近なまちづくり支援街路事業」等のいわゆるグレードアップ事業として実施する場合は、それらの計画様式を次頁以降に添付すること。

* 不足する場合は適宜行を追加すること

道路(市道2221号線・市道2209号線・市道2222号線・市道2287号線・市道2218号線)

整備内容

○既存のアスファルト舗装を、地区内の景観に合わせ整備する道路部分について、側溝の再整備を実施。
(道路整備延長L=1,320mの内、平成28年度から31年度までL=490m)



地域生活基盤施設

単位:百万円

交付対象施設	施設名 (路線名等)	事業主体	概要 (面積、幅員、 延長、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳			備考
					設計費	用地費	施設整備費 うち購入費	
緑地							—	
広場	帯笑園	沼津市	広場面積A=292㎡	55	2		53	—
駐車場								
自転車駐車場	原駅自転車等駐車場	沼津市	駐車場面積A=848㎡	35	5	5	25	—
荷物共同集配施設								
公開空地								
情報板	白隠のみち	沼津市	案内看板N=9箇所	12	3		9	—
地域防災施設								
人工地盤								
合計	—	—	—	102	10	5	87	

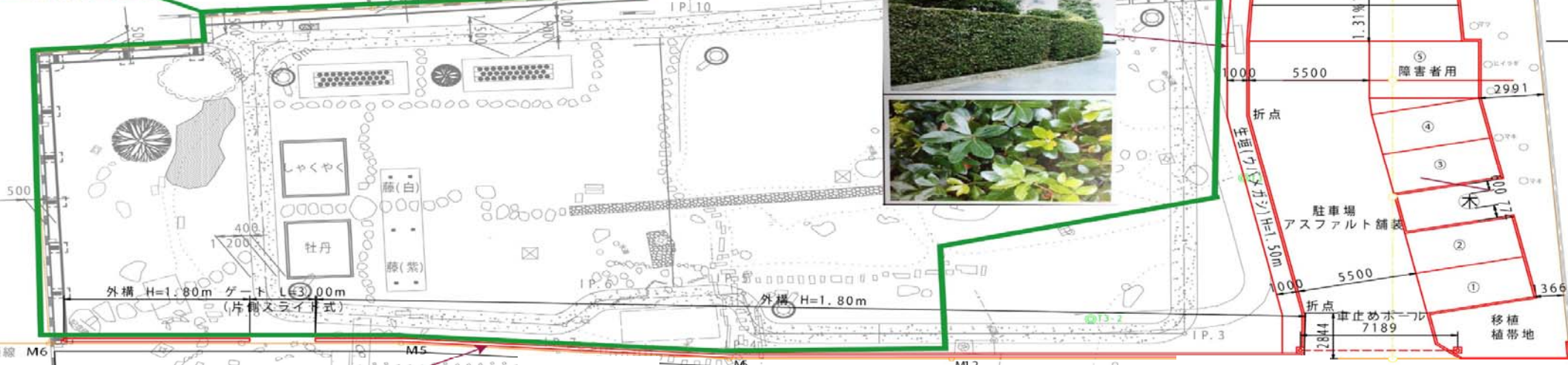
- ・施設名ごとに1行ずつ記入。足りない場合は、適宜行を追加すること。
- ・「事業主体」欄には、事業の施行者を記入。(間接交付の場合は、交付金事業者ではなく、「第三セクター」等の施行者を記入。)
- ・「駐車場」、「自転車駐車場」については、「概要」欄に、形式(立体〇層、タワーパーキング、地下駐輪場等)、面積及び駐車台数を記入。
- ・駐車場については、「備考」欄に駐車場全体の整備に要する費用を記入。
- ・自転車駐車場については、「備考」欄に都市計画決定の有無、自転車駐車施設整備計画における位置づけの有無、自転車駐車場に関する附置義務条例等における位置づけの有無を記入すること。
- ・地域防災施設の「施設名」欄には、耐水性貯水槽、備蓄倉庫、放送施設、情報通信施設、発電施設、排水再利用施設、避難空間等の施設の種別を記入。
- ・共同駐車場については、別の所定のシートに記載すること。

帯笑園整備事業(広場)

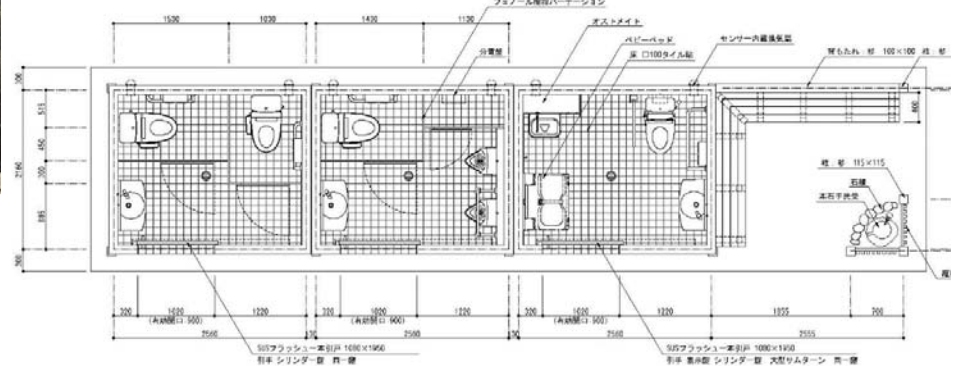
計画平面図 S=1:200



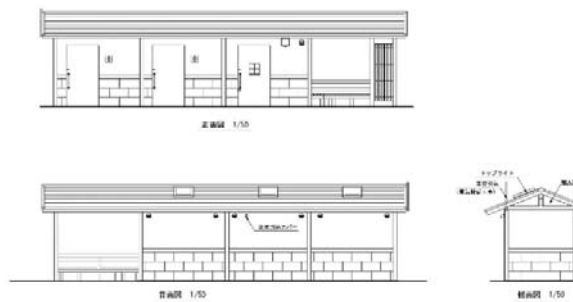
登録範囲



トイレ平面



トイレ立面図



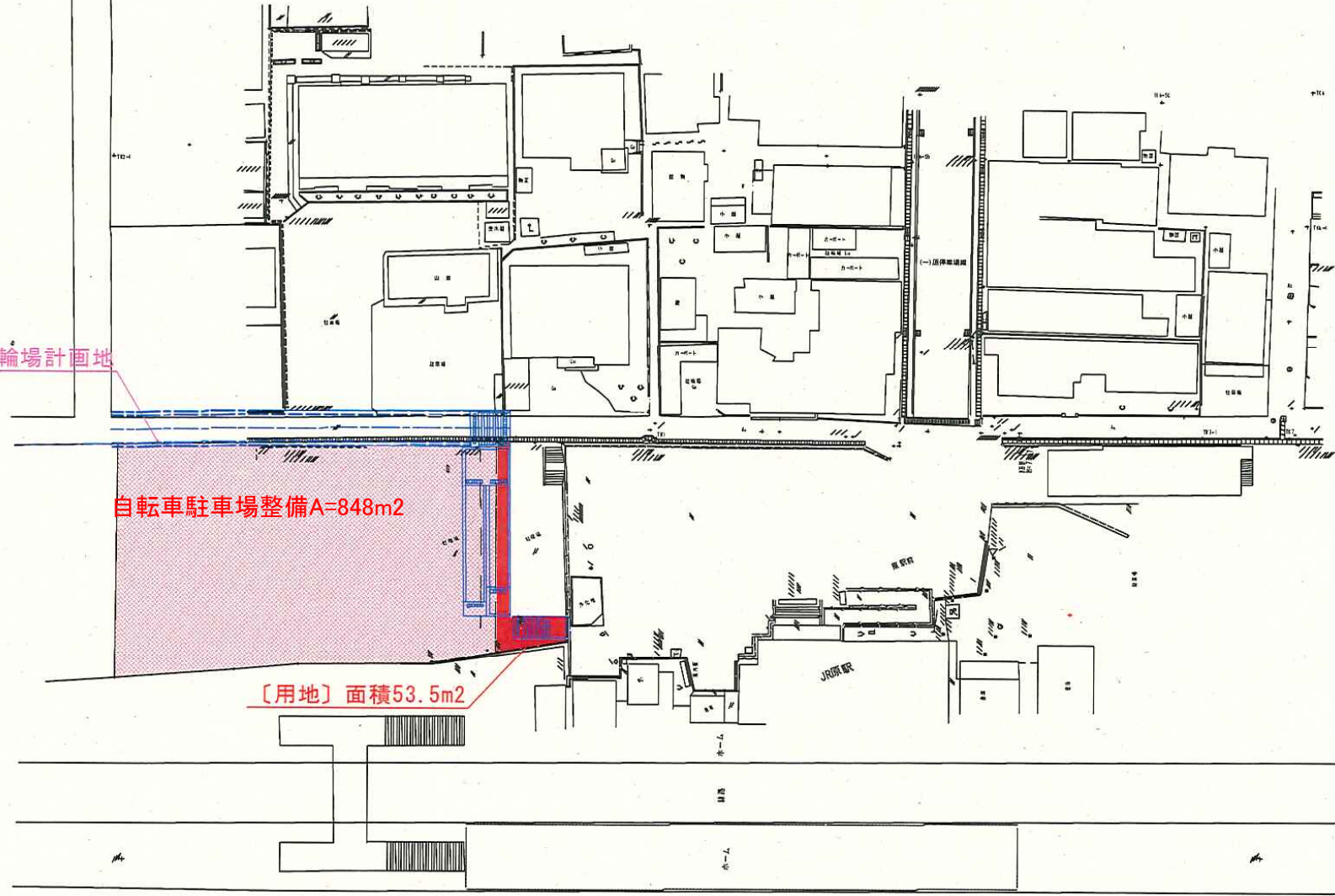
原駅前自転車等駐車場整備事業

250
=1:500)

駐輪場計画地

自転車駐車場整備A=848m²

〔用地〕面積53.5m²



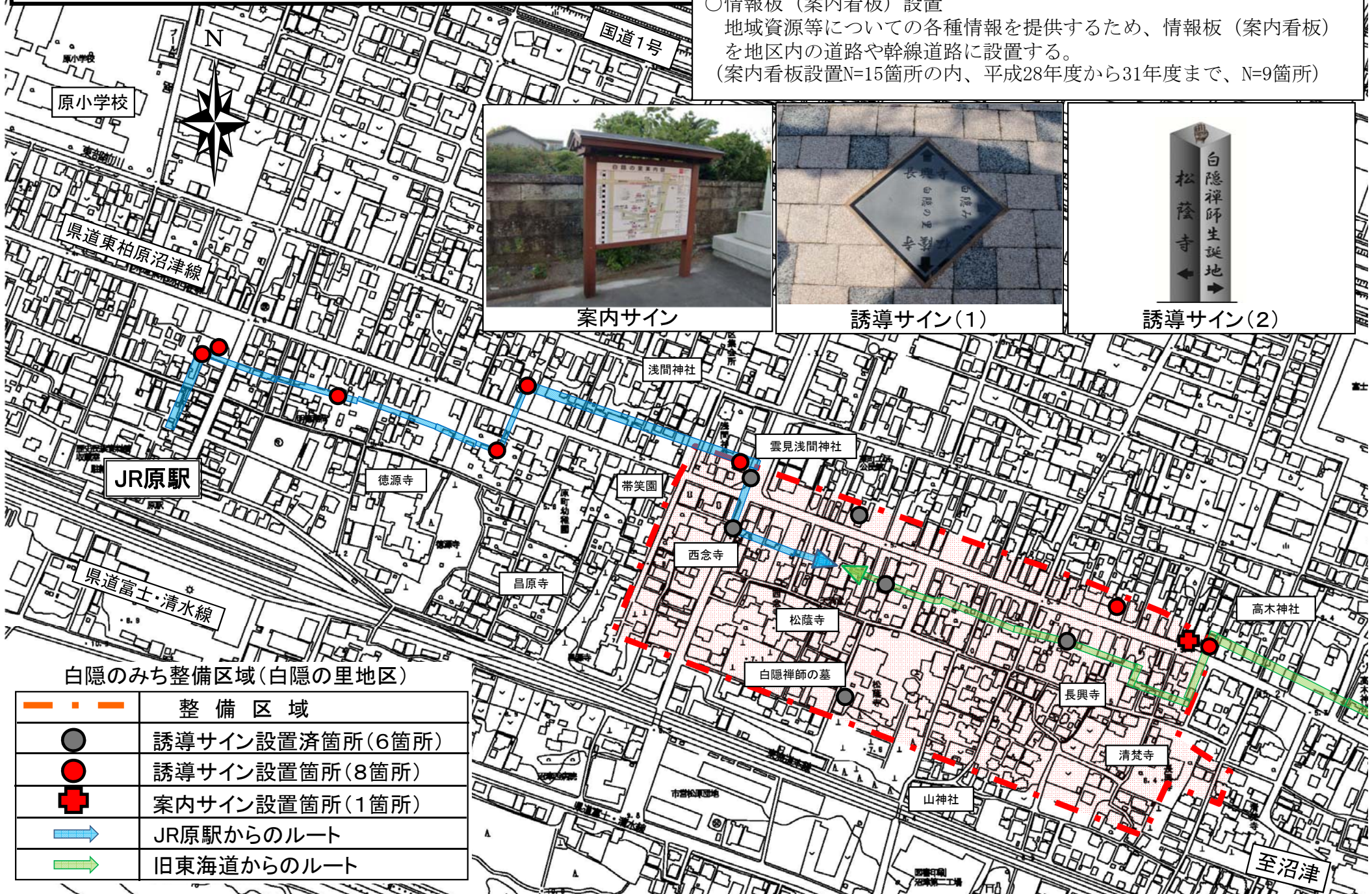
白隠のみち整備事業（地域生活基盤施設）

整備内容

○情報板（案内看板）設置

地域資源等についての各種情報を提供するため、情報板（案内看板）を地区内の道路や幹線道路に設置する。

（案内看板設置N=15箇所の内、平成28年度から31年度まで、N=9箇所）



案内サイン



誘導サイン(1)



誘導サイン(2)

白隠のみち整備区域(白隠の里地区)

	整備区域
	誘導サイン設置済箇所(6箇所)
	誘導サイン設置箇所(8箇所)
	案内サイン設置箇所(1箇所)
	JR原駅からのルート
	旧東海道からのルート

高質空間形成施設

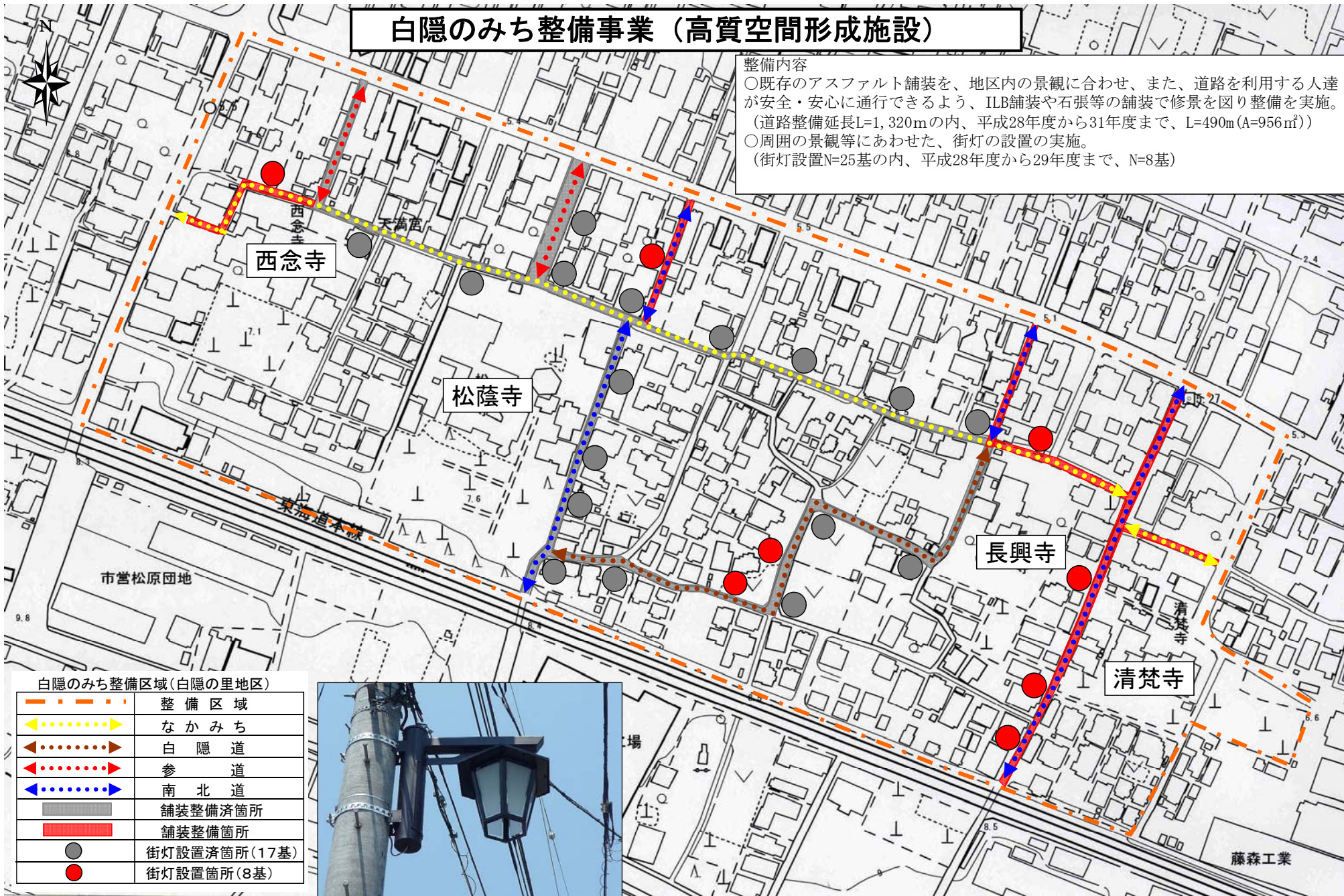
単位:百万円

交付対象施設	施設名	事業主体	概要 (箇所数、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳			備考
					設計費	用地費	施設整備費	
緑化施設等(植栽・緑化施設、せせらぎ・カスケード、カラー舗装・石畳、照明施設、ストリートファニチャー・モニュメント等)	白隠のみち	沼津市	ILB舗装A=956㎡	31			31	
緑化施設等(植栽・緑化施設、せせらぎ・カスケード、カラー舗装・石畳、照明施設、ストリートファニチャー・モニュメント等)	白隠のみち	沼津市	街灯(8基)	7			7	
電柱電線類移設								
地域冷暖房施設								
歩行支援施設、障害者誘導施設等								
合計	—	—	—	38			38	

白隠のみち整備事業（高質空間形成施設）

整備内容

- 既存のアスファルト舗装を、地区内の景観に合わせ、また、道路を利用する人達が安全・安心に通行できるよう、ILB舗装や石張等の舗装で修景を図り整備を実施。
(道路整備延長L=1,320mの内、平成28年度から31年度まで、L=490m(A=956㎡))
- 周囲の景観等に合わせた、街灯の設置の実施。
(街灯設置N=25基の内、平成28年度から29年度まで、N=8基)



白隠のみち整備区域(白隠の里地区)

	整備区域
	なかみち
	白隠道
	参道
	南北道
	舗装整備箇所
	舗装整備箇所
	街灯設置箇所(17基)
	街灯設置箇所(8基)



藤森工業

既存建造物活用事業

既存建造物の従前の用途・活用の必要性等

帯笑園内に所在する「臨春亭」は、江戸時代後期には客をもてなし人々が集う場として利用されてきたが、幾たびかの建替えを経て近年は居宅の一部として利用されていた。現在は沼津市が寄付を受け、管理をしているが、老朽化および耐震性の問題から活用に至っていない。帯笑園には相当数の歴史的資料が所在するが、これらを展示・公開する場としてのみならず、園地を見渡せる休み処としてや茶会などのイベントを展開できるよう耐震補強を施し、活用を図るものである。
また、西蔵についても、土蔵として利用していたが、臨春亭と同様に老朽化・耐震性に問題があるため、耐震補強を実施し、展示施設として活用するものである。

地域生活基盤施設

単位:百万円

交付対象施設	施設名 (路線名等)	事業主体	概要 (面積、幅員、 延長、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳			備考
					設計費	施設整備費		
						購入費	移設・改築 費	

高質空間形成施設

単位:百万円

交付対象施設	施設名	事業主体	概要 (箇所数、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳			備考
					設計費	施設整備費		
						購入費	移設・改築 費	

高次都市施設

単位:百万円

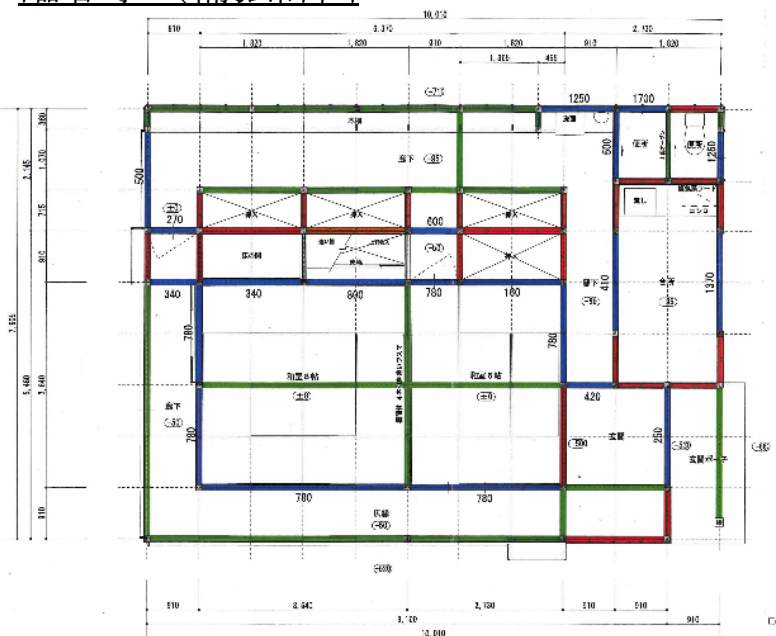
交付対象施設	施設名	事業主体	概要 (面積、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳							備考	
					設計費	施設整備費							
						購入費	移設・改築 費	空地等整備 費	情報通信施 設整備費	制振・免震構 造化工事費	防災施設整 備費		
地域交流センター	帯笑園	沼津市	1584㎡	36	4		27	5					

- ・施設名ごとに(道路は路線ごとに)1行ずつ記入。足りない場合は、適宜行を追加すること。
- ・「事業主体」欄には、事業の施行者を記入。(間接交付の場合は、交付金事業者ではなく、「第三セクター」等の施行者を記入。)
- ・その他記入上の注意は「地域生活基盤施設」、「高質空間形成施設」、「高次都市施設」のシートと同様。

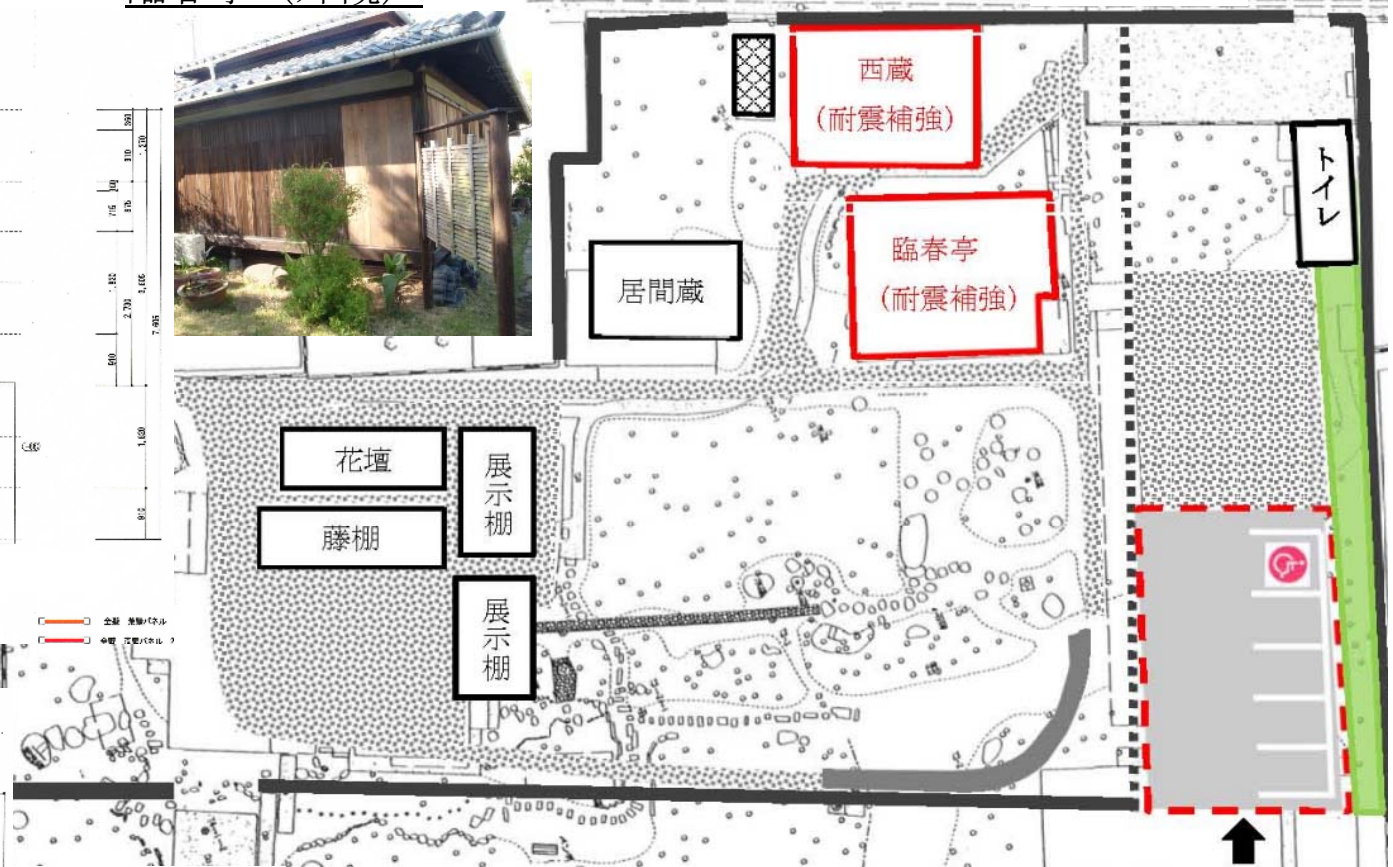
帯笑園整備事業（既存建物活用事業）



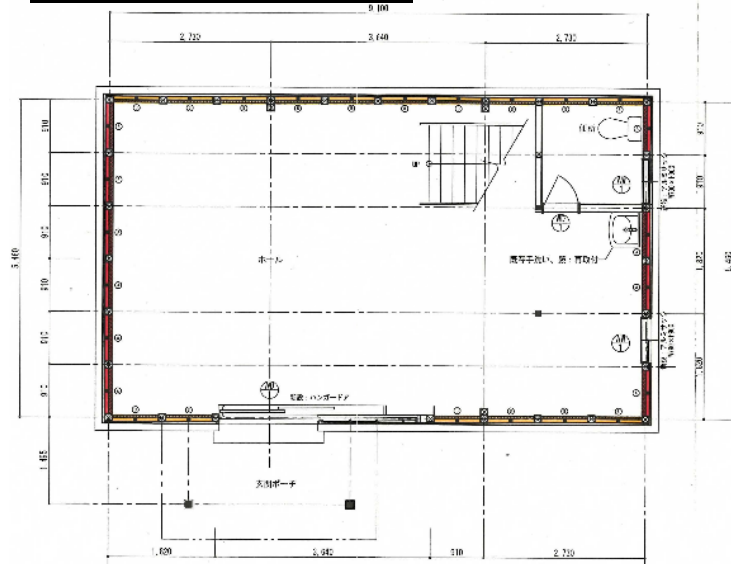
臨春亭（補強計画）



臨春亭（外観）



西蔵（補強計画図）



西蔵（外観）

